

埼玉県の防災ヘリ墜落

5人死亡2人生存情報

25日午前11時10分ごろ、埼玉県秩父市の山中に県の防災ヘリコプターが墜落したという情報が県の消防防災課に入った。県によると、山岳遭難の救助に向かう途中で、救助隊のメンバーや乗員ら7人が乗っていたという。秩父署によると、5人の死亡が確認され、2人が生存しているという。

県によると、墜落したのは県の防災ヘリ「あらかわ1号」。県警によると、墜落現場は同県秩父市大滝のブドウ沢付近とみられる。

県によると、同日午前10時45分ごろ、女性(55)が墜落現場付近で滝壺に転落したという連絡を受け、同県川島町の防災航空センターから救助に向かっていたという。基地を出発時、乗っていたのは男性5人で、パイロット2人と救助隊員3人。途中で秩父消防本部の隊員2人を乗せたという。

県警によると、県警のヘリが県防災ヘリに続いて現場に向かう途中、現場付近で煙が上がっているのを見つけた。



墜落した防災ヘリコプター「あらかわ1号」＝2006年5月撮影

国土交通省によると、ヘリコプターの機種は「ユーロコプターAS365」。奥秩父の国道140号「雁坂(かりさか)トンネル」付近の山中で沢側に転落しているという。「煙が出ているが炎上はしていない」との情報があるという。

熊谷地方气象台によると、事故が起きた午前11時ごろの秩父市内は晴れ、約2分の北西の風が吹いていた。午前中には大雨・洪水・雷注意報が発表され、大気の状態が不安定なため、竜巻や突風へ注意を呼びかけていたが、そうした現象は確認されていないという。